

令和4年度 竹松小学校経営方針

教育方針

長崎県や大村市などの教育方針に基づき、これまでの校風や伝統を継承しながら、ふるさとを愛し夢や目標を持って21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成に努める。このため、教職員がその使命と責任を自覚し、ふれあいと感動に満ち、地域に根ざした教育の充実発展に努めると共に、大人になり社会の役に立つ人となるような人づくりの基盤づくりに努める。

学校教育目標

夢を持ち 創造性に富んだ 心豊かで 明るく元気な 竹松っ子の育成

めざす学校像

- ・安心、安全な学校
- ・豊かな学びと規範意識を大切にする学校
- ・保護者や地域に信頼される学校

めざす児童像

- ・明るく思いやりのある子ども
- ・夢を持ち自ら考え実践する子ども
- ・元気で頑張る子ども

めざす教師像

- ・児童に寄り添う教師
- ・教育のプロの自覚を持ち、学び続ける教師
- ・保護者や地域に信頼される教師

竹小の課題

- 学力向上
- 配慮を要する児童への対応
- 不登校傾向児童への対応

大村市の課題

- 学力向上（豊かな学力の実現）
- 不登校対策（不登校0の実現）
- 多様な感性を育てる環境作り

学校教育目標の達成のために

第4章 課題に向き合う1学期

学力向上

- ①学びの環境を整える（竹松小スタンダードの定着）
②学力向上・授業改善を語る職員室（学年経営を中心に）

配慮を要する児童への対応

- ①学年（特別支援学級）、管理職、補助員の情報共有とサポート体制づくり
②早期の保護者面談の実施

不登校傾向の児童への対応

- ①児童、保護者への積極的な関り（スタートダッシュ）
②相談室改革→担任、担当、管理職の連携強化

楽しい学校の実現

- COMING SOON

【年間を通して達成に近づけたい8つの取組】

学力向上

- ・学習規律の徹底
- ・竹松小スタンダードの浸透
- ・わかつたできたのある日々の授業
- ・家庭学習の定着
- ・同僚性を土台とした授業改善

心の教育

- ・心に届く教科「道徳」
- ・自己肯定感の高揚
- ・主体的な児童の育成

生活指導の徹底

- ・規範意識の行動化
- ・全職員による生活指導
- ・補助員との緊密な連携

保護者・地域との連携

- ・迅速、誠実な対応
- ・報・連・相の徹底
- ・関係機関との連携強化

安心安全な学校

- ・危機管理の意識共有
- ・事務職員との連携強化
- ・保健室経営のサポート

生活習慣の向上

- ・早寝早起き朝ごはん
- ・遅刻者減少へ
- ・メディアコントロール

校長として実現すること

信頼される校長～やりがいを感じ、働きやすい職場つくり～

